



# 味の好みの情報が人物の印象に与える影響 —相貌に基づく第一印象の変化—

齋藤千尋 白戸夏葵 丹野真奈実



## 問題と目的

高校時代、厳しい顔つきの男性教師に対して、何となく怖く、近づきたい印象があった。しかし、実は甘いものがとても好きだと知ってからその印象が柔らかくなった。



味の好みの情報を付与することで、相貌に基づく印象は変化するのではないか。

【先行研究】相貌ステレオタイプの顔の記憶への影響(西村, 2022)

性格と相貌に関する以下のステレオタイプを示唆

「優しい人はたれ目で口角が上がっている」

「厳しい人は目と眉がつりあがり、口角が下がっている」

⇒左の例の様な厳しい印象が、第一印象として形成されてしまった原因？

目的：本研究では、相貌に基づく第一印象に、味の好みの情報を付与することで印象が変化するか検討する。

## 予備調査

### 目的

味の好みの情報から抱く印象を確認する。

### 方法

● 調査対象者：女子大学生89名

● アンケート構成：

甘い/辛いものの好きの20代女性に対する印象をたずねた。林(1978)のSD法尺度(5段階評定)から、以下の10項目を用いて分析。

#### 【人懐こさ】

「いじわるな-親切的な」  
「心のせまい-心のひろい」  
「親しみにくい-親しみやすい」

#### 【慎重さ】

「せっかちな-落ち着いた」  
「でしゃばりな-ひかえめな」

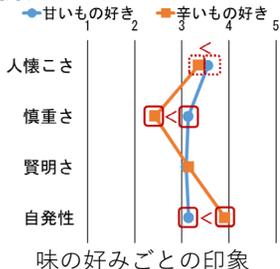
#### 【賢明さ】

「不誠実な-誠実な」  
「知的でない-知的な」

#### 【自発性】

「自信のない-自信のある」  
「消極的な-積極的な」  
「意志が弱い-意志が強い」

### 結果



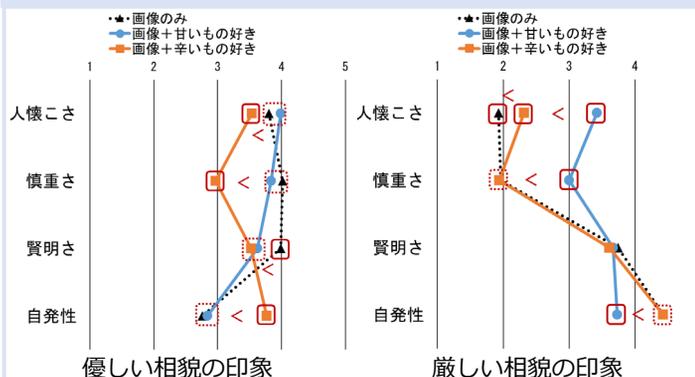
#### ● 甘いもの好き

人懐こい（親切で親しみやすく、心が広い）印象

#### ● 辛いもの好き

慎重さに欠ける（でしゃばりでせっかち）が、自発性がある（積極的に意志が強い）印象

## 結果



#### ● 甘いもの好き情報を付与

→大きな変化なし

人懐・慎・自：変化なし  
賢：低下

#### ● 辛いもの好き情報を付与

→印象の変化あり

人懐・慎・賢：低下  
自：上昇

#### ● 甘いもの好き情報を付与

→印象の変化あり

人懐・慎：上昇  
賢：変化なし  
自：低下

#### ● 辛いもの好き情報を付与

→大きな変化なし

人懐：上昇  
慎・賢・自：変化なし

「優しい相貌+辛いもの好き情報」  
「厳しい相貌+甘いもの好き情報」

予備調査でみられた味の好みの印象に合致する方向で変化がみられた。

「優しい相貌+甘いもの好き情報」  
「厳しい相貌+辛いもの好き情報」

大きな変化なし

## 方法

● 調査対象者：女子大学生70名(うち欠損値2名)

● 条件：①「優しい相貌」画像のみ

②「優しい相貌」画像+「甘いもの好き」情報

③「優しい相貌」画像+「辛いもの好き」情報

④「厳しい相貌」画像のみ

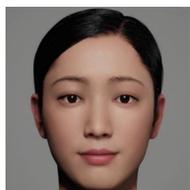
⑤「厳しい相貌」画像+「甘いもの好き」情報

⑥「厳しい相貌」画像+「辛いもの好き」情報

● アンケートの構成：上記の各条件に対する印象をたずねた。印象測定は予備調査同様(SD法)。

● 提示刺激：相貌は以下の画像。

味の好みの情報は仮想場面(画像の人物とは初対面という設定で、グルメフェスで甘いスイーツ、または激辛料理を買うという条件文)。



◀ 優しい相貌

厳しい相貌 ▶



## 考察

相貌からの印象と味の好みの情報からの印象にずれがあると

#### ● 先に示した相貌の印象のままの場合

ex. 優しい相貌に甘いもの好き情報を付与  
優しい相貌=甘いものが好きそうという連想が働く  
⇒相貌通りの印象のまま

#### ● 後に示した味の好みの印象に置き換えられる場合

ex. 優しい相貌に辛いもの好き情報を付与  
連想した味の好みと実際の好みの情報にギャップがある  
⇒味の好みの印象に置き換えられた

印象の変化は・・・  
味の好みの印象が、相貌から連想される味の好みの印象と合致しているかどうかによって生じるのではないかと。